

# FFFTPの利用について

教育文化学部 石黒純一

## 1. FTPでできること

FTPはFile Transfer Protocolの略であり、二つのコンピュータ間でのファイル転送（送受信）のための手順（プロトコル）です。PCをネットワーク端末として使用し、ネットワークの諸サーバとの間でデータを転送する場合、IETF（Internet Engineering Task Force）によって規格化されたFTPは重要な手順であり、テキストおよびバイナリファイルの転送が可能です。FTPを実現するためのクライアントアプリケーションとして情報処理端末PCには曾田 純氏の作によるフリーウェアであるFFFTP Ver.1.87 (<http://www2.biglobe.ne.jp/~sota/ffftp.html>) がインストールされています。曾田氏によれば、本アプリケーションには次のような特徴があります。

- ・ファイルリストの部分とファイル転送が別スレッドなので、ファイル転送をしながら新たなファイル操作ができる。
- ・ミラーリングアップロード機能により、ローカルのファイル構成と同じ物をホスト側に作ることができる。
- ・漢字コードの変換ができる。
- ・漢字のファイル名を扱うことができる。
- ・サブディレクトリを含めたファイルの転送ができる。
- ・各種FireWall、SOCKS、ワンタイムパスワードに対応している。

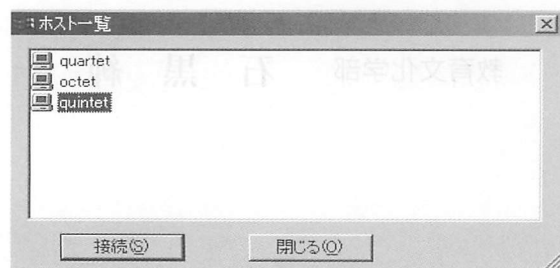
学内LAN利用者のために、総合情報処理センターのホストコンピュータには登録者用のファイルスペースが確保されています。同スペースの利用と管理のため、FTPの利用法は登録利用者として是非とも知っておきたいスキルです。また、インターネット利用者として総合情報処理センターを経由して学外に出て行き、必要とするファイルをダウンロード、アップロードする場合もFTPが多用されます。情報処理センターのFTPサーバ (<ftp://ftp.akita-u.ac.jp/>) は全世界に向けて公開FTPサービスを行っています。学外のサイトよりファイルをダウンロードする前に、本学のFTPサーバに目的ファイルの存在を確認することはネットワークのスピードアップ・活用の面から重要です。この場合、WWWブラウザやエクスプローラー（Windows OSの場合）からFTPサーバにアクセスすることができますが、FFFTPを用いる方がより便利です。

## 2. FFFTPの設定とFTPサーバへのアクセス

FFFTPはデスクトップのショートカットアイコン（右図）からや、[スタート] →



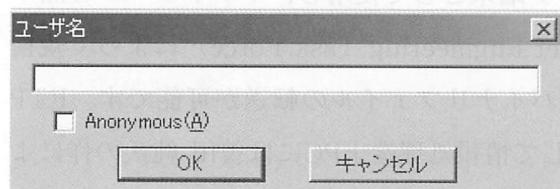
[プログラム] → [FFFTP] と進み起動します。



ホスト一覧ダイアログで新規ホストを選びます。

[ホスト一覧]

- quartet
- octet
- quintet

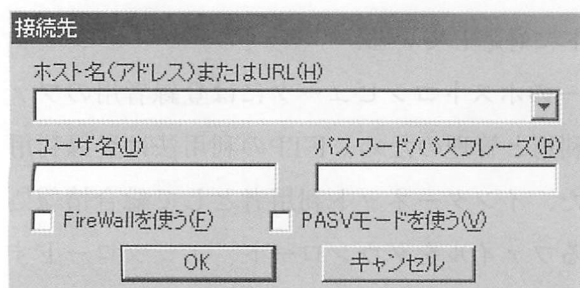


ユーザ名を入力し、OKをクリック。



パスワードを入力し、OKをクリック。

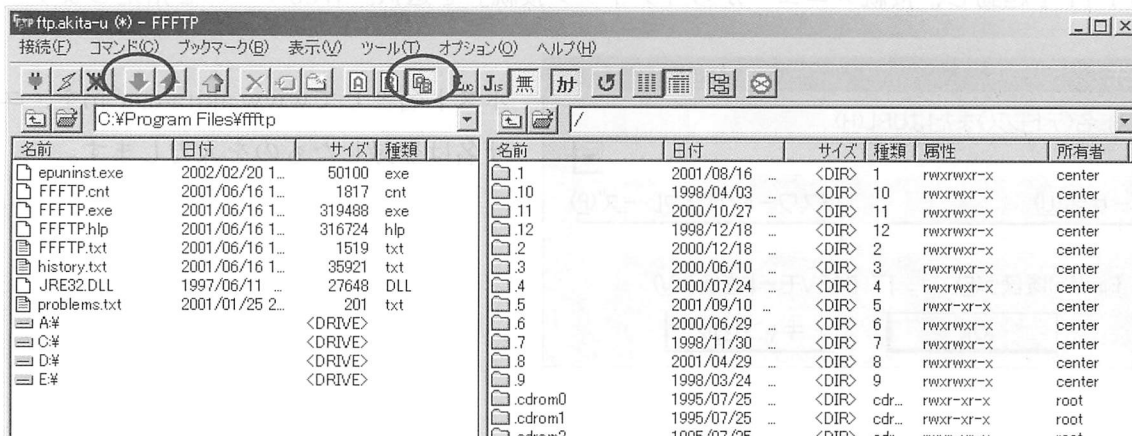
quartet、octet、quintet以外のホストを接続する場合は、接続メニューから「クイック接続」を選択します。



接続したいホスト名、ユーザ名、パスワードを入力します。

公開型FTPサーバ (anonymous FTP) をホストとする場合、ユーザ名にanonymousを用いることも可能です。その場合、パスワードには礼儀として自分のネットワークアドレスを用いることが推奨されています。もちろん、秋田大学のFTPサーバ (ホスト) へ各自に与えられたユーザ名とパスワードで接続することに問題はありません。

接続画面は下の図のようになります。



上の図で、左のウィンドウはローカルホスト（自分のPC）、右のウィンドウはホスト（この場合、総合情報処理センターのFTPサーバ）のそれぞれのディレクトリ／ファイルリストです。（注：図のローカルウィンドウでは筆者のPCのフォルダ¥ProgramFiles¥ffftp内のリストが示されています。）例えば、秋田大学のFTPサーバからNetscape 6.2をダウンロードしたい場合は、ホストウィンドウのフォルダを.1→WWW-clients→Netscape→japanese→6.2→windows→win3.2と進むとN6setup.exeが存在するので、（即ち/.1/WWW-clients/Netscape/japanese/6.2/windows/win3.2/N6setup.exe）それをダウンロードします。ファイル転送はバイナリで行いますが、図の○印のように[ファイル名で切り替えボタン]を押しておくで自動判別します。N6setup.exeを選択・反転させると図の○印の[ダウンロードボタン]（下矢印）に色が着くのでそれを押すと、左ウィンドウの現在開かれているフォルダにファイルが転送されます。したがって、FTP実行時は左ウィンドウで開いておくフォルダも重要です（新規フォルダの作成も可）。

### 3. Webページ用ファイルの転送

本学では学部学生には許可されていませんが、教職員と大学院生は総合情報処理センターのWebサーバに自分のWebページ用ファイルを置くことができます（注：申請・許可が必要）。ここではFFFTPを用いたその手順について説明します。

#### 1) Webページ用ファイルの用意

次の4種6本のファイルをhomepageというフォルダに用意すると仮定して、手順を説明します。

- (1) ページを記述したhtmlファイル：①index.html
- (2) 画像ファイル：②gazou1.jpg、③gazou2.jpg
- (3) 壁紙ファイル：④kabe.jpg
- (4) イラストファイル：⑤illust1.gif、⑥illust2.gif

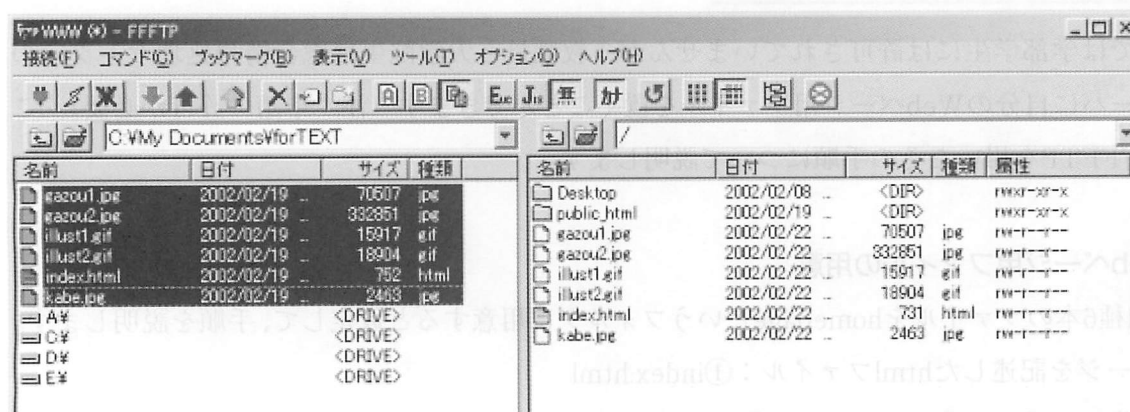
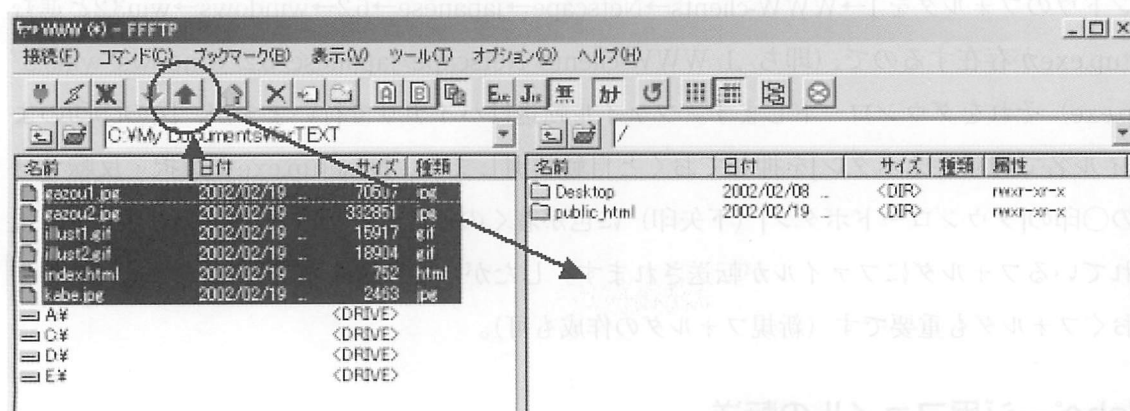
## 2) Webサーバへの接続

FFFTPを起動し、接続メニューから「クイック接続」を選択。Webサーバを指定します。

ホスト名としてwww.akita-u.ac.jpを、ユーザ名は登録したものを入力します。

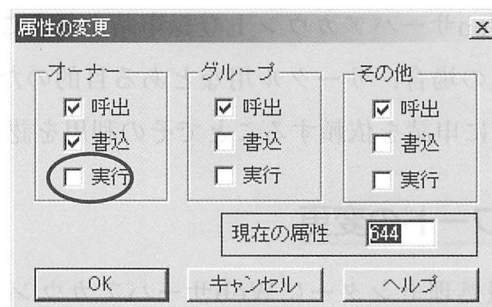
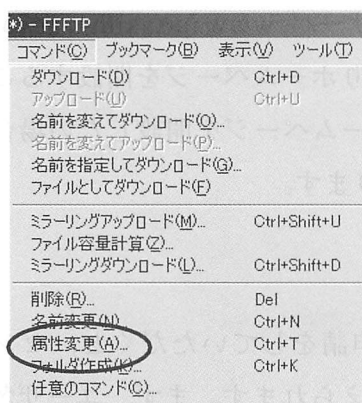
## 3) Webサーバへのファイル転送

FFFTP初期画面にて転送するファイルをすべて選び、上矢印ボタンを押します。転送モードは自動切換えでよいでしょう。また、漢字コードの変換は無しにし、安全のために半角カナを全角カナに変換するボタンを押しておくともよいでしょう。ファイルが転送されてWebサーバ内のファイルリストが表示されます。



#### 4) ファイル属性の変更

Webページを公開するには同ページ用ファイルについて「ファイル属性（パーミッション）」を設定する必要があります。各ファイル権限者には「Owner」「Group」「Other」があり、それぞれに「読み込みRead」「書き込みWrite」「実行Execute」権限を設定します。FFFTPの場合、属性変更したいホスト上のファイルを選択し、[メニューバー] → [コマンド] と進むか、マウスボタンを右クリックすると左下図のメニューが出るので、[属性変更]を選び、現れる属性の変更ダイアログ（右下図）で許可者・許可の種類にチェックを入れて指定します。



権限の設定はファイルやフォルダの種類によりますが、一般的には、「オーナー」には読み込み（呼出）、書き込み権限を与え、フォルダやファイルによっては実行権も与えます。「その他」には読み込み権のみを与えます。このとき、ホストウィンドウのファイル属性欄が、rwxr--r-となります。なお、「グループ」の属性設定については対象としているユーザによります。

以上の操作により、Webページが公開されることとなりますが、ホストウィンドウにて新規ディレクトリpublic\_htmlを作り（同ディレクトリの属性は744に変更）、そこにWebページ用のファイルを移動させておくと、登録ユーザ名がhogeの場合のURLは  
<http://www.ipc.akita-u.ac.jp/~hoge/>となります。